

読 響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra



Aprico 20th Anniversary

“炎のマエストロ”
小林研一郎

巨匠入魂のベートーヴェン。

響み掛けるリズム、興奮の連続が

会場を熱狂へと導く！



©Kiyotaka Sai

気鋭のヴァイオリニストが
メンデルスゾーンの傑作を艶やかに奏で
聴衆を虜にする！

シベリウス:交響詩「フィンランディア」作品26

メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64

ベートーヴェン:交響曲 第7番 イ長調 作品92

©読響

“真田丸”のテーマで話題

三浦文彰 郎

©Yuji Hori

2018年 7月8日 日 15時開演

大田区民ホール・アプリコ大ホール (JR線・東急線「蒲田駅」東口徒歩3分)

S¥4,500 A¥3,500 U25シート¥2,000 (全席指定・消費税込み)

お申し込み・お問い合わせ

チケット専用電話 03-3750-1555 (10時~20時)

オンラインチケット <http://www.ota-bunka.or.jp/> (オンライン価格は5%割引/別途手数料がかかります)

大田区民ホール・アプリコ 03-5744-1600 / 大田区民プラザ 03-3750-1611 / 大田文化の森 03-3772-0700

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休) <http://yomikyo.or.jp/>



えがく かなでる ひびく

公益財団法人 大田区文化振興協会

●未就学児の入場はご遠慮願います。●曲目は変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。●託児サービス10歳児~小学生未満まで。お子様1人につき2,000円を
ご負担いただきます(要予約/マザーズ0120-788-222)。●U25シートは25歳以下の方が対象で、公演当日残席がある場合に限り販売。年齢を確認できるものをご提示いただきます。
主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売日本交響楽団、(公財)大田区文化振興協会

小林研一郎が渾身のタクトを振り、熱狂のクライマックスへ。 新鋭・三浦文彰が甘い音色で、聴衆を魅了する！

“炎のマエストロ”小林研一郎(特別客演指揮者)は、78歳となった今も精力的に演奏活動続け、絶大な人気を誇っています。小林がタクトを振れば、圧倒的なエネルギーが放たれ、一音一音まで魂の行き届いた音楽が流れ出します。今回は小林が得意とする3つの名曲を披露します。

冒頭を飾るのは、シベリウスの代表作、交響詩「フィンランディア」。シベリウスが母国フィンランドに対する熱い愛国心を込めて作曲した名品で、希望に満ちた力強いテーマが興奮の頂点を築きます。

続いて演奏するのは、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲。数あるヴァイオリン協奏曲の中でも特に人気の高い作品で、哀愁に満ちた美しいメロディと華やかなパッセージが特徴です。独奏を務めるのは、NHK大河ドラマ「真田丸」のテーマ演奏で話題を呼んだ新鋭・三浦文彰。持ち前の完璧なテクニックと豊かな音楽性で、表情豊かに旋律を歌い上げます。

メインは、ベートーヴェンの交響曲第7番。かつてワーグナーが「舞踏の聖化」と評したように、リズムカルで躍動的な曲想が聴き手を興奮へと誘います。テレビドラマ「のだめカンタービレ」で使われ、改めて爆発的な人気を得ました。木管楽器が伸びやかなメロディを奏で、弦楽器は力強い弓さばきでエネルギーに満ちた演奏を展開します。“炎のコパケン”の渾身のタクトが圧倒的なフィナーレへと畳み掛け、熱狂のクライマックスを迎えるでしょう。どうぞ、ご期待ください。

小林研一郎(指揮) Ken-ichiro Kobayashi, Conductor

“コパケン”の愛称で親しまれている世界的指揮者。2011年8月から、読響特別客演指揮者の任にある。東京芸術大学作曲科および指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位。欧州の一流楽団を多数指揮しており、02年の「プラハの春」音楽祭では、東洋人で初めて開幕コンサートに招かれ「わが祖国」をチェコ・フィルと演奏。ハンガリー国立響の音楽総監督やチェコ・フィル常任客演指揮者をはじめ、数多くの楽団のポジションを歴任。現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル、名古屋フィルの桂冠指揮者、九響の名誉客演指揮者、東京文化会館音楽監督、東京芸術大学、東京音楽大学、リスト音楽院の名誉教授など務める。13年秋の叙勲で旭日中綬章が授与された。オクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリース。読響とはブラームスの交響曲を全曲録音し、高い評価を得た。

三浦文彰(ヴァイオリン) Fumaki Miura, Violin

2009年ハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝し、一気に世界の注目を浴びた新星。東京都出身。メニューイン国際コンクール・ジュニア部門第2位など輝かしいコンクール歴を誇る。北ドイツ放送響、シュトゥットガルト放送響、プラハ・フィル、ウィーン室内管、読響などと共演。録音は、15年にリントゥ指揮ベルリン・ドイツ響との共演でチャイコフスキーなどの協奏曲を収録し、エイベックスよりリリース。16年の「名曲コレクション」も好評を博している。16年NHK大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏し、一躍人気者になった。17年8月にはテレビ「情熱大陸」で取り上げられ、大きな話題を呼んだ。第20回出光音楽賞受賞。



©Yuji Hori

読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra



1962年、日本のクラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共演を重ねている。現在、常任指揮者をシルヴァン・カンブルランが務め、東京のサントリーホールや東京芸術劇場などで充実した内容で演奏会を多数開催。2017年11月にはメシアン之歌劇「アッジの聖フランチェスコ」が好評を博し、『音楽の友』誌の「コンサート・ベストテン2017」で第1位となった。「第49回(2017年度)サントリー音楽賞」を受賞。『定期演奏会』などの様子は日本テレビ「読響シンフォニックライブ」で放送されている。

